



土木

鏡石町営鳥見山陸上競技場がプレオープンしました



事業実績

鏡石町の鳥見山公園には様々なスポーツ施設が整備されています。

これまで当支援機構では、鳥見山公園内の多目的広場・テニスコート(平成27年)、すいすいプール(令和元年)、体育館(令和2年)等の改修を支援していますが、今回は陸上競技場の改修設計・施工管理を支援しました。

当陸上競技場は、第50回ふくしま国体(1995年)のサッカー会場として整備され、町民はもとより岩瀬・石川にとどまらず県内の学生から一般の方々に広く利用され、素晴らしい記録や世界で活躍する選手を輩出してきた競技場です。

全天候型(ウレタン系舗装)競技場として、部分的補修を経ながら30年近く活躍してきましたが、走路全体の摩耗により凹凸が失われており、使用時に転倒による怪我の恐れがあると判断し全面改修計画を実施しました。

ウレタン系舗装改修計画では、表層(ウレタン)の凸部を切削しウレタン材をオーバーレイすることで新材打替えと比べ、費用を1/2に抑えることができました。新競技場の走路は、記録が出やすいブルーを採用し、スポーツ実施率の向上や競技力向上のため、多くの方々の利用が期待されます。

本工事では「スポーツ振興くじ助成金」を活用したほか、公認陸上競技場(第4種ライト)の公認を取得し、令和7年度にリニューアルオープンする計画です。

当支援機構では、様々な施設の改修等の事業計画について全面的に支援しております。お気軽にお問い合わせください。



Before

鳥見山公園陸上競技場

After



※ 青色には興奮を抑え、集中力を高める効果があります。近年、選手が集中して好成績を出せるようにトラックの色に青色を採用する競技場が増えています。



(土木技術課 TEL 024-522-5122)

【用語解説】

「オーバーレイ(overlay)」とは、「重ねる」「かぶせる」といった意味を持つ単語で、土木工事では表層に新しい舗装を重ねる工法のことを指します。新材打替えと比べ、表層以下の状況が不明でも実施可能、損傷や劣化した層のみを切削することで費用と工事日数が抑制可能などのメリットがあります。

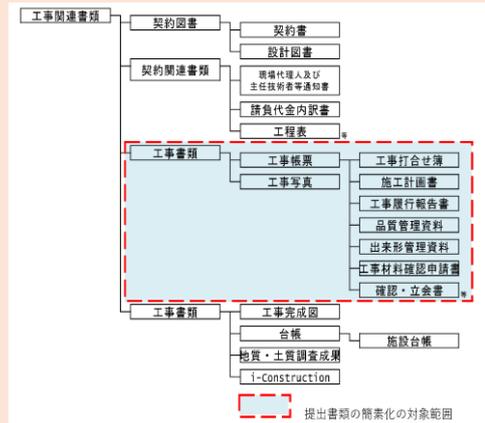
工事に関する提出書類の簡素化について

福島県土木部では、国土交通省の「土木工事における受発注者の業務効率化実施方針」に基づき、令和5年3月に土木工事を対象として、提出書類の簡素化に向けた基本的な考え方や具体的な取組をまとめた「土木工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」を策定しました。

また、上記ガイドラインは令和6年5月に建築関係工事編を加え、名称が「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン(以下、ガイドライン)」に変更されました。土木・建築関係工事における長時間労働の是正につなげるため、ぜひご活用ください。

【ガイドライン策定の経緯】

- 土木・建築関係工事の担い手である**建設業の持続的な維持、発展のため、長時間労働の削減や働き方改革の推進**が求められている
- 品質を確保した上で**、工事関連書類の作成を必要最小限に抑えることで**業務効率化・長時間労働の是正**につなげる
- 工事関連書類のほとんどは契約上必要な書類で削減は困難なため、工事書類のうち、**慣例で作成している書類を対象に簡素化を図る**



福島県土木部「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」より

【簡素化のために意識すべきこと】



※留意事項

- 取組めることから実施する。
➢ 出来ることから始め、徐々に拡大していくことで品質を落とさず実効性が向上。
- 準備段階からの緊密な打合せを図る。
➢ 準備段階からの受発注間の緊密なコミュニケーションが円滑な実施のカギ。

【具体的な取組みの例】

- 作成不要な書類の削減
➢ 慣例で作成している、提示で済む、メール・口頭で済む書類を作成しない。
- 提示で済む書類の削減
➢ 材料の試験成績表などは請求時に提示できるように整備・保管し、提出はしない。
- 過剰な資料作成の抑制
➢ 照査結果に基づく設計図書の訂正・変更は発注者で行い、受注者に要求しない。
- 情報共有システムの活用
➢ 工事帳票や工事写真を電子データのまま検査し、単純作業の削減を図る。

詳しくは福島県ホームページ「土木部技術管理課:工事に関する提出書類の簡素化ガイドラインについて (<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kansokaguideline.html>)」をご覧ください。

当支援機構では今後も国等の制度改革や新規施策などの最新情報を解説し、市町村の建設行政を支援してまいります。お気軽にお問い合わせください。

(技術支援課 Tel 024-572-6321)

石川町実務研修生：永瀬 幸弥さん（土木技術部 土木技術課 技師）



研修の期間に様々な経験を積みたい

永瀬 幸弥（ながせ ゆきや）さんは、令和5年10月より石川町役場から当支援機構に派遣されている実務研修生です。

現在は土木技術課で、道路改良工事や河川改修工事の積算業務を担当していますが、「研修期間が終了するまでにできるだけ多くの経験を積みたい。」と、橋梁補修工事を始めとした未経験の工種へのチャレンジにも意欲的です。

より質の高い公共工事を目指して

当支援機構の実施する市町村建設事業等担当職員研修（短期研修）にも参加したことがあり、町でも積算システムに触れる機会があったという永瀬さんですが、長期研修生として支援機構で様々な業務に携わることでより深い理解を得られたといいます。

また、「土木」の知識が増えていくことで、ますます興味が湧いていき、日常生活の中でも普段通る道路や河川を土木的に見て、当たり前と思っていたことでもどうしてそうなっているのかを考えるようになったそうです。

令和7年4月からは町に戻り、技術職の先輩方と支援機構で学んだ知識を共有しながら「より質の高い公共工事に取り組んでいきたい。」と今後の意気込みを語っていただきました。

これからの永瀬さんの素晴らしい街づくりを期待したいと思います。

令和6年度採用職員：本郷 健太郎さん（土木技術部 技術支援課 技師）

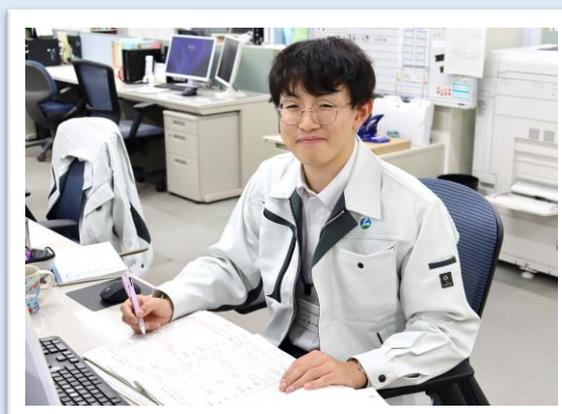
知識と現場の状況が結びつく時が刺激になる

令和6年4月より当支援機構の職員に本郷 健太郎（ほんごう けんたろう）さんが加わりました。

現在は、研修期間として、積算業務の過去データによる積算練習と現場工事の見学により基礎知識の習得を行っています。

大学では白鳥の個体数把握の省力化を目的とした鳴き声による個体識別を研究していたという本郷さん。初めての積算業務、聞きなれない土木の用語に苦戦しながらも、学んだ知識が現場で見学した状況と結びつく時が刺激になると嬉しそうでした。

中学生では柔道、高校生では弓道に打ち込み、どちらも段位を取得したほか、大学時代は友人と青森からフェリーを使った北海道弾丸ツアーを行うなど何事にも積極的に取り組む本郷さんは技術士を目標に様々な資格を取得していきたいと意気込みを語ってくれました。



学生時代を支えてくれた家族に感謝

須賀川市内の高校に進学した本郷さんは、毎日、古殿町内の実家から最寄り駅までの送迎をしてくれた家族に深く感謝しているそうです。

周囲への感謝を忘れない本郷さんが様々な経験を糧とし、これからの支援機構を担う一員として成長していくことを期待したいと思います。



令和6年度市町村建設事業等担当職員研修を開催しています

当支援機構で開催する令和6年度の研修計画については、現在下記の予定となっています。詳細は開催日の1ヵ月前を目途にお知らせしますが、日程の変更等が生じる場合がありますので、最新の募集状況等は当支援機構のHPをご覧ください。

令和6年度 市町村建設事業等担当職員研修計画

区分	研修名	開催日	日数	備考
基礎	土木技術の基礎講座	5月・7月	3日間	2回開催
初級	設計積算システムによる積算演習<土木>	6月・7月	2日間	2回開催
	営繕積算システム RIBC2 による積算演習<建築>	8月	2日間	
	Jw-CAD演習	6月・8月	2日間	2回開催
	用地研修	9月	2日間	
	道路事業の計画設計(I)	10月	2日間	隔年開催
中級	工事検査*	8月	1日間	
	橋梁点検と補修計画	9月	3日間	隔年開催
特別	会計検査制度と指摘事例の解説*	10月	1日間	
	公営企業会計制度	11月	1日間	
	公共施設の維持管理*	10月	1日間	
	工事事故の防止について*	10月	1日間	

※ ZOOM による WEB 研修です。受講環境は受講者各自でご準備ください。

(企画課 TEL 024-572-6325)

職員募集のお知らせ

当支援機構では一緒に働く職員を募集しています。

公共土木施設や公共施設に関する調査・設計・積算・工事管理(監理)にご興味のある方は、ホームページの「お問合せフォーム」または「info2@fctc.or.jp」よりお問合せください。

詳細は採用サイト(<https://www.fm-so.org/recruit>)または右上の QR コードからご確認ください。



採用情報

中途採用職員募集要項

職 種	土木職	建築職
業務内容	公共土木施設に関する調査・設計・積算・工事管理	公共施設に関する調査・設計・積算・工事監理
採用人数	1名	1名
応募資格	(1) 年齢 昭和59年4月2日以前に生まれた人 (2) 学 歴 大学又は高等専門学校等において土木工学科又はこれに相当する学科等を専攻して卒業した人 (3) 免 許 普通自動車運転免許のある人(取得見込みを含む)	(1) 年齢 60歳未満の人 (2) 学 歴 大学又は高等専門学校等において建築学科又はこれに相当する学科等を専攻して卒業した人 (3) 資 格 一級建築士 (4) スキル ワード、エクセル、CAD操作のできる人 (5) 免 許 普通自動車運転免許のある人(取得見込みを含む)
勤務場所	福島市中町7番17号	
初任給の基準	短大卒(技術職) 190,500円～ 大 卒 (#) 207,200円～ 大学院卒 (#) 218,400円～ 上記基準に基づき、年齢、能力、経験等を考慮し決定します。	

【編集後記】

より分かりやすい情報発信を目指し、当支援機構のホームページを令和6年6月1日にリニューアルしました。

これまで、これからも「市町村にとってかけがえのない存在」であり続けるため、様々な情報発信を行っていきたいと考えております。

新たな当支援機構のホームページをぜひご利用ください。



リニューアル後のHP

【編集・発行】一般財団法人ふくしま市町村支援機構 〒960-8043 福島県福島市中町7-17
TEL(代表): 024-522-5123 FAX: 024-522-3631
E-Mail: info2@fctc.or.jp URL: <https://www.fm-so.org/>



支援機構HP